

2021 年 度
一 般 選 抜 試 験 問 題

国 語

(60 分)

(100 点)

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 工学部は、国語・英語のいずれか 1 教科を選択、感性デザイン学部は、国語・英語・数学の中から 2 教科を選択して解答しなさい。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等がある場合は、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
4. 筆記用具は、黒鉛筆または黒のシャープペンシルに限ります。
5. 解答用紙に受験番号を記入しなさい。
6. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

国語

第1問

次の(1)～(5)の傍線を引いたカタカナの部分に漢字に直し、解答欄に記せ。(配点 10)

- (1) ここで会うのも何かのインネンがあるのだろう。
- (2) 柔道の大会で実力をコジする。
- (3) 事の顛末をコクメイに記録する。
- (4) ビンジョウ値上げは許されない。
- (5) 満場になるのにまだジャツカンの余裕がある。

第2問

次の(1)～(5)の傍線を引いたカタカナの部分にあらわす言葉として最も適当なものを、それぞれア～エから一つずつ選び、その記号を解答欄に記せ。(配点 5)

- (1) 街の発展をムソウする。 ア 無双 イ 夢想 ウ 無想 エ 無窓
- (2) 疲れて深い眠りにツク。 ア 付 イ 尽 ウ 突 エ 就
- (3) このタンカーのハイスイ量は十万吨ある。 ア 背水 イ 配水 ウ 排水 エ 廃水
- (4) 不利な形勢からハンコウに転ずる。 ア 反抗 イ 反攻 ウ 犯行 エ 版行
- (5) 彼は一度の演説でジンシンを掌握する。 ア 人心 イ 人臣 ウ 深心 エ 仁心

第3問

次の(1)～(5)の意味にあてはまる言葉として最も適当なものを、それぞれア～ウから一つずつ選び、その記号を解答欄に記せ。(配点 5)

- (1) あることをさせようとおどしつけること ア 圧迫 イ 強迫 ウ 脅迫
- (2) 氏名や地位・職業などをいつわって言うこと ア 偽称 イ 偽証 ウ 詐偽
- (3) 過ぎ去ったことを思い起こすこと ア 懐古 イ 回顧 ウ 想起

- (4) 処世上の手本とすべき内容を持つ優れたことば ア 金言 イ 助言 ウ 提言
- (5) 社会や人の役に立つこと ア 協力 イ 援助 ウ 寄与

第4問 次の(1)～(4)の傍線部の読み方を解答欄に記せ。(配点 8)

- (1) 調査の結果は蓋然性のあるものだった。 (2) その訃報は全国民を驚かせた。
- (3) 我々は眞実を喝破する必要がある。 (4) 僅かな望みに賭けて勝負に出た。

第5問 次の(1)～(5)の四字熟語の に入る漢字一字を解答欄に記せ。(配点 5)

- (1) 主 転倒 (2) 明鏡止 (3) 徹頭徹 (4) 鷄 狗盜 (5) 自 撞着

第6問 次の(1)～(5)の に入る言葉として最も適当なものを、それぞれア～エから一つずつ選び、その記号を解答欄に記

せ。(配点 5)

- (1) 主人の目を 金を盗んだ。 ア 凝らして イ かけて ウ かすめて エ 輝かせて
- (2) 彼の意見は会議に を投じた。 ア 一タ イ 一石 ウ 一席 エ 一隻
- (3) 定年後、母は の手習いでピアノを始めた。 ア 朝 イ 晩年 ウ 師匠 エ 六十
- (4) いずれ に物を見せてやる。 ア 目 イ 口 ウ 手 エ 腕
- (5) をつけてばかりでは嫌われるよ。 ア 難癖 イ 悪態 ウ 屁理屈 エ 杖

第7問 次の(1)～(4)の語句の反対語として最も適当なものを、ア～クからそれぞれ一つずつ選び、解答欄に記せ。(配点 4)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| (1) 栄達 <input type="checkbox"/> | (2) 停滞 <input type="checkbox"/> |
| (3) 強靱 <input type="checkbox"/> | (4) 暴露 <input type="checkbox"/> |

ア	進取
イ	進捗
ウ	脆弱
エ	零落
オ	寡黙
カ	遵法
キ	隠蔽
ク	騰貴

第8問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。ただし、出題の都合上、文章を一部変更したところがある。(配点 8)

みなさんは、プレゼンの資料をつくるときに、どのようにつくっているでしょうか。パワーポイントなどで資料をつくると思いますが、資料に載せるのは、ほとんどが図か表かグラフではないでしょうか。パワーポイントの画面に長々と文章を書く人はあまりいないでしょう。できるだけスッキリとした図や表を載せて、プレゼン資料をつくっているはずです。

私も、プレゼン資料をつくるときには、図や表を中心につくっています。そのときの自分の経験からすると、図や表が完成したときには、自然に頭の中に文章が出来上がっているような気がします。「どんな言葉で説明しようかな？」と考えなくても、図表が出来上がれば、頭の中に説明文が自然に浮かび上がってきます。

要するに、メッセージの主体は、図表であって、言葉はつけ足しのような感じですが、実際、プレゼンの場で、聞き手に伝えたイェッセンスは、資料に書かれた図表部分です。資料の図表を、聞き手の脳の中に受け入れてもらうために、言葉を使ってあれこれと補足説明しているようなものです。

逆に、私たちが聞き手の場合、プレゼン資料に書かれた図表が頭の中にすんなりと入ってきたときが、「分かった！」と感じる瞬間ではないでしょうか。

つまり、私たちは情報のイェッセンスを、言葉としてではなく、図表として頭の中に貯えている可能性が高いということです。具体的な例で見てみましょう。

国語

【文章例】

二〇〇二年七月に制定された「健康増進法」という法律が二〇〇三年五月一日から施行された。たばこを吸わない人が、他人のたばこの煙を吸わされることを「受動喫煙」という。この法律の第五章・第二節・第二五条は、公的施設の管理者に対し、その施設での受動喫煙の発生を禁じている。喫煙者だけではなく、受動喫煙者でも肺癌発病率や妊婦の奇形児出生率が高いことがWHO（世界保健機関）によって証明されたためである。公的施設とは、学校、体育館、病院、劇場、観覧場、宿泊施設、集会場、展示場、百貨店、事務所、官公庁施設、飲食店、またはその他、多数の人が利用する公的施設をいう。禁煙席と喫煙席に分けただけで、禁煙席にたばこの煙が流れてくる状態のことを不完全分煙という。また、同じく、禁煙席と喫煙席に分けただけで、非喫煙者も利用せざるを得ない出入り口、通路、トイレ、レジなどで受動喫煙が起る状態も不完全分煙という。従来、こうした不完全分煙は、違法ではなかった。しかし、二〇〇三年五月以降、こうした不完全分煙の状態で営業することは、非喫煙者に有害物質を吸わせていることから違法行為となった。非喫煙者に一切の受動喫煙をさせない分離状態を完全分煙という。完全分煙は、この法律の施行以降も合法となる。また、もちろん、完全禁煙も合法である。違法状態を放置している公的施設管理者は、順法を求める非喫煙者からの民事訴訟を免れないであろう。また、訴訟に至らずとも、同法にすばやく対応した優良企業を除いて、承知の上で有毒物質を顧客に吸わせ続けている企業などは、社会的、道義的責任を追及されるであろう。

文章を読んでも、きっと頭の中に、うまく入ってこないでしょう。しかし、次のような表をつくることができれば、情報の内容は明確になり、頭の中にも入りやすくなります。

このように【文章例】のエッセンスは、簡単な表にまとめられるということです。

（出典 藤沢晃治著『理解する技術 情報の本質が分かる』PHP新書）

問 傍線部「次のような表」を次に示した。表中の空欄「A」「D」に入る語句として最も適当なものを、本文中から抜き出して答えよ。同じ記号の空欄には、同じ言葉が入る。また、表中に記載されている○は合法、×は違法を表す。

国語

	1	2	3
	〔 A 〕	〔 B 〕 〔 〔 D 〕なし〕	〔 C 〕 〔 〔 D 〕あり〕
新法発効後	○	○	×
新法発効前	○	○	○

第9問

次の文章は、井上史雄著『新・敬語論 なぜ「乱れる」のか』の一節である。これを読み、後の問い（問1～10）に

答えよ。ただし、出題の都合上、文章を一部変更したところがある。（配点 50）

この章では、現代敬語のマニユアル化について述べる。自由闊達かっただに多彩な敬語を使いこなすのではなく、現場で必要な限られた表現だけを身につけるといふ流れである。(1)マニユアル敬語は、経済効率のいい教育法であるが、実際の使用例は、従来なかった新しいことばづかいを含んでおり、議論がわき起こる。また、コンビニエンスストアなどの接客業だけでなく、世間一般に使われる言い方もある。しかし発生の原因を探ると、説明可能で、将来広がると考えられる。つまり、ことばの乱れと言われる現象は言語変化なのだという論を、**a**ホキョウウホキョウウすることになる。

この第5章では、マニユアル敬語を手がかりに、敬語の現状について考える。近頃世で騒がれるマニユアル敬語は、社会人、会社人になる前の段階の、形式化された敬語使用である。第4章までに挙げたように、問題敬語とされる現象は多いので、個人が採否を判断するよりは、どこかでまとめて一つに決めるほうがいい。これがマニユアル敬語発達の理由である。

一部の職種では接客用語などを徹底的に訓練する。マニユアル敬語の一種で、応用の**b**キキかない表現であることが多い。しかし

入社以降、敬語の訓練が行われない職場があり、現場で先輩の指導を受ける程度のことが多い。結局は日本語敬語の衰退に結びつく。

「マニュアル敬語」は「バイト敬語」とも呼ばれる。コンビニでよく使われ、語源どおりコンビニエント（便利）な敬語なので「コンビニ敬語」とも呼ばれる。同列に置かれるのが、ファミリーレストランやファストフード店、コンビニなので、まとめて「ファミコン敬語」とも言われる。

マニュアル敬語にはそれなりの経済性があって、そのために広がっている。マニュアル敬語は、訓練の投資・費用のわりに売り上げや企業イメージの効果の大きい、コスト・パフォーマンスの高いことばづかいなのだ。最低限のサバイバルの敬語でもある。敬語を習得していない新卒者または臨時のアルバイト、外国人のアルバイトのためには効率的である。高校生は先生や上級生にも尊敬語をほとんど使わない。丁寧語「ですます」を使う程度である。そんな若者に、現場で実際に必要とされる最低限の敬語表現を教える。はじめは基本的な型から身につけさせ、その後場面を広げて応用させる、という仕組みで、スポーツと同じだ。

マニュアル敬語は、シキシヤの非難・批判を受ける。従来にない言い回しを含むので、世の中で騒がれ、間違った敬語として非難される。「○○のほう」「○○円になります」のような、耳慣れない表現が、ヒョウテキになる。実際には世間一般に広がった言い方もあり、その場合は濡れ衣とも言える。^②しかし広がるからには心理的理由がある。新しい言い方の進出の背景には、とらえ方、つまり心理の変化がある。

マニュアル敬語の実例は、学校の文法で習うような「敬語」では説明できない。丸覚えしないといけないような長い表現を、尊敬語・謙譲語・丁寧語に分けても、説明に役立たない。それでもマニュアル「敬語」と呼んで、矛盾するわけではない。「敬語」のとらえ方が近頃変わってきた。敬意とか丁寧さを表す方法が、違ってきたのだ。以下で個別例を説明する。

マニュアル敬語として非難される言い方に、「よろしかったでしょうか」がある。ファミリーレストランなどで、入るとすぐに「禁煙席でよろしかったでしょうか」などと言われる。座ったあとだったら、「よろしかった」かと聞かれてもいい。ファミリーレストランなどでは、注文をとったら最後に確認する。そのときの言い方は、「ご注文は以上でよろしかったでしょうか」である。これを接客表現全体に応用したのだろう。

「よろしかった」はどうして拡張されたか。ぼかし表現の一種という説明がある。日本語の仮定表現で、「もし明日でよかったら」のように、未来のことであっても過去形にあたる「た」を使う。日本語以外に、英語・フランス語・ドイツ語などでも、過去形や仮定形・条件形などが丁寧な表現として使われる。つまり「た」は、現在の状況をじかに示すのではなく、完了したかのようにとらえて、丁寧さを表現しようとしている。これは丁寧さ起源説である。丁寧に言い表すために、直接的な指示を避けるというのは、人類共通の「フヘン」的な心理的傾向である。全国に拡大する背景には、これがあてはまる。

方言起源説もある。「よろしかった」は地方で先行したようで、名古屋で最初に耳にしたという報告がある。NHK (1987) の世論調査によると、「よろしかったでしょうか」は、北海道と東海地方で多く使われていた。関東ことに東京付近には遅れて入ってきた。

北海道に多いのは、東北や北海道で「た」の用法が共通語より広いためだ。この地域では、「おぼんでした」「おはようございました」とあいさつするし、電話をかけて名乗るときに「井上でした」のように言う。その基盤として、東北地方では、よその家を訪ねて、「井上さんいたか」と声をかける。本人が奥から「ああ、いたいた」と言いながら出る。共通語でも、待っていたバスが遠くに見えたら「来た来た」と言う。英語国民は、「バスが来つつある」と表現する。日本語の「た」は過去を示すわけではない。期待していたことの完了を示す。東北・北海道では共通語よりさらに用法を発展させている。^③これが背景にあって、北日本で「よろしかったでしょうか」が発生したと、説明できる。

某ファストフードチェーンでは「よろしかったでしょうか」を2003年に禁止した。別に料理の味が変わるわけではないが、イメージが大事な業種だからだ。さほどイメージを気にしないで済む庶民としては、「よろしいでしょうか」で十分である。自分では使わないほうがいいが、使う人がいても、^①大目に見よう。

「こちら、ご注文のトーストになります」は、生のパンとトースターを客のテーブルに出すのなら、正しい言い方である。テーブルの上でトースターのスイッチを入れれば、パンが焼けて、「おお、トーストになった」と喜べるわけだ。

ただ「になる」には「にあたる」という用法もある（もともと手元の辞書にはこの用法は載っていない）。結婚式での紹介で「こちらの方がおじになります」のように、「にあたる」の意味で使う。別に結婚によって血縁関係が変わるためにおじに「な

る」と言うわけではない。「父の弟、私の叔父になるのですが」「親が兄弟どうしだと子どもにとっては、いとこになるわけですが」「知人といってもいちおう恩師になるのかな」などの例もある。これは「変化する」ではなく、「にあたる」の意味である。

「になる」は、接客関係でさらに意味分野、f テキヨウ範囲を拡大した。この言い回しは、「である」「です」よりも、柔らかい言い方だ。陣内(1998)は「になります」のイメージをグラフに示した。「になります」はすべて平均0点の線より上で、「丁寧」「好感がもてる」「柔らかい」などで好印象に結びつく。いわゆる敬語と違った表現法を開発して、新しい心理的関係を築くのだ。これが進出の理由だろう。「です」は中間的で、「になります」と逆の傾向を示し、「シンプル」である点がプラスに評価される。「でございます」は、意外なことに「丁寧」と「好感がもてる」以外は、平均0点の線より下になることが多い。硬くて機械的で② 仰々しいというイメージで、慇懃無礼な印象なのだろう。

「になります」は「です」などに比べると、直接断定する感じが薄れる。心理的に和らげる働きがあり、一種のぼかし表現である。このようなイメージを若い人が抱いているのだから、「になります」の普及は当然と言える。マニュアル敬語としてだけでなく、世間一般に広がっている。しかし乱用しないほうがいい。

「のほう」の多用も非難される。昔、訪問販売で「消防署のほうから来ました」と言って消火器を売りつけたという事件があった。一度消防署の近くに行ってから訪問すれば、うそにならない。

文化庁(1997, 2003, 2014)では「お会計のほう、1万円になります」について聞いている。図5-1参照。3回の調査結果の違いが大きく、「気になる」がきれいに増えている。1997年にはどの年代でもA。2003年にはベテラン層で5割以上に増えたが、若い世代では3割前後だった。2014年には中年以上でB。ただし20代以下の若い人はC。世の中で使う人が増えているので「気になる」も増えるのだが、若い人にとってはよく聞くので当たり前にひびくのだろう。「のほう」を使っている若い人たちによると、直接指さない点で安心なのだろう。ぼかし表現の一つである。マニュアル敬語としてだけでなく、世間一般に広がっている。よく聞くが、できれば「のほう」は使わないほうがいい。

「千円からお預かりします」などはおかしいと言われる。コンビニやファストフード店などで使われはじめたのは、1980年代という報告がある。この場合の「から」が「誤用」なのか、どうして出てきたかについては、大勢の人が論じている。

国語

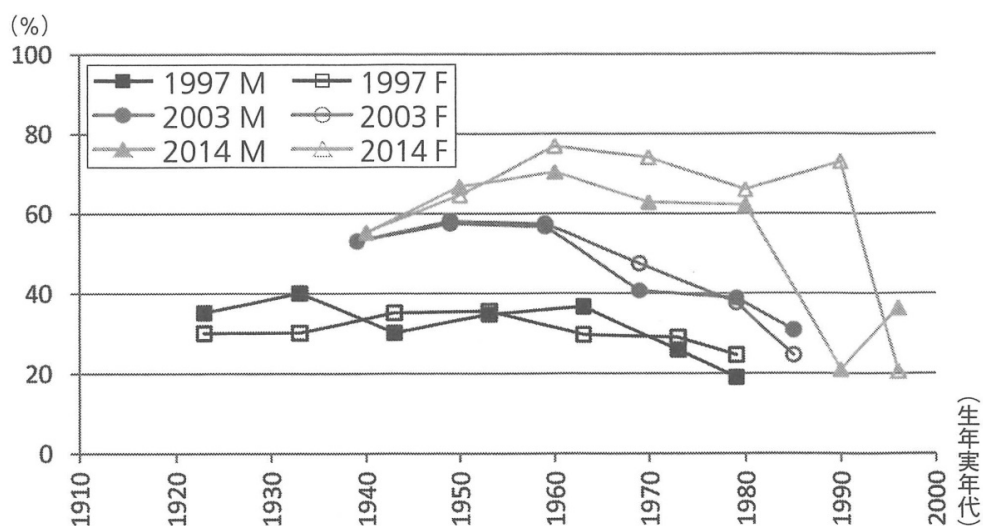


図5-1 「お会計のほう」が「気になる」と答えた人
(文化庁1997、2003、2014)

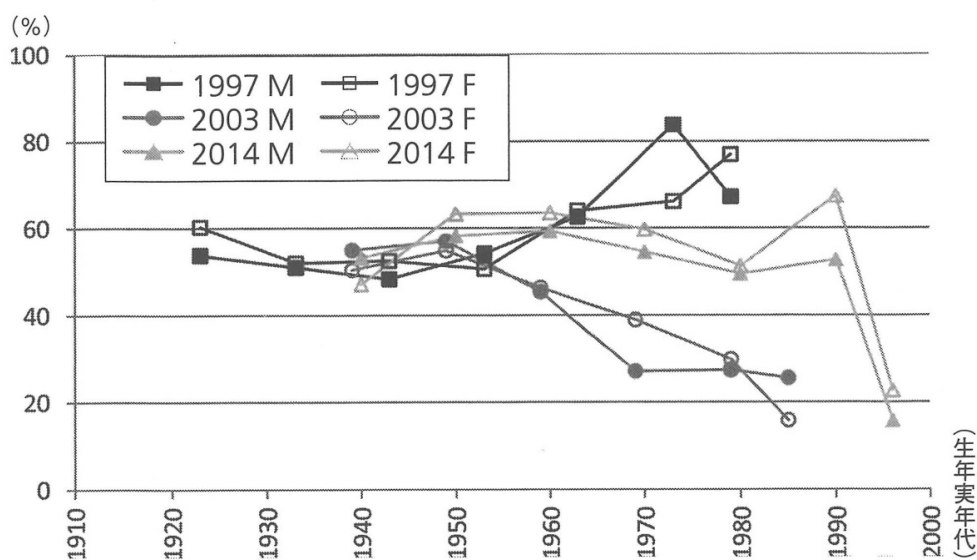


図5-2 「千円からお預かりします」が「気になる」と答えた人
(文化庁1997、2003、2014)

「生年実年代グラフ」の読み取り方：生年実年代（その人が生まれた年）によって並べた。回答者の生まれた年代の中央値（例えば40代なら44歳とする）で生年を計算している。7年後の調査なら7年離れた位置に線が描かれる。若い世代が右になる。20代から70代までは10年間隔だが、10代（16歳から19歳）は7年間隔で示した。この手法を使うと、数十年を隔てた繰り返し調査の年齢差も忠実に示されるので、100年近い期間の動きを観察できる。グラフの線は、古い調査を濃い黒で示し、その後の調査は薄い色にした。なお、年齢層の「ベテラン層」とは50代前後を指す。3回の調査の男女を1枚のグラフに入れたので6本の線が重なる。男Mを黒マーカー、女Fを白抜きマーカーで区別する。生年実年代で並べたので、同じコホート（cohort 同時出生集団）の人がのちの調査でどう変わったかもわかる。

文化庁(1997, 2003, 2014)は(千円未満の買い物をしたとき、店の会計で、店員が)「千円から(お預かりします)」という言い方について、聞いている。図5-2を見よう。ほうきのようにDで線が広がる。「気になる」の割合は、戦前生まれの世代では5割前後で、調査を繰り返しても動かない。この層が批判的なのだ。しかし1970年代以降に生まれた人は不可解な線を描く。1997年報告の10代には気になる人が7割ほどいた。2003年にはE。2014年にはF。別のグラフによると「気になる」の割合は商工サービス業に目立つ。逆の「気にならない」は20代・学生に多く、東北・九州に多い。実際に広がって、話題にのぼり、意識されることが多くなったのだろう。

1万円札と5千円札、千円札は似ていて、レジで混乱を起こした。見えるようにマグネットで留めて会計をすませることもあったが、今はことばで表す。「千円 お預かりします」の金額のあとに何か助詞を入れるなら、「千円を」でもいいが、助詞「から」は機能が広いので、つり銭計算の出発点と考えて「千円から」を使ったと考えられる。

これには九州方言がヒントになる。『方言文法全国地図』No. 30(国立国語研究所1989、2006)で、《(一〇〇円の買物をして一万円を出し)「すみませんが、一万円でお願ひします」と言うときの「一万円でお願ひします」のところはどのように言いますか》の答えを見ると、日本の大部分は「で」だが、九州各地と山口県で「から」を使う。

マニユアル敬語の「千円から」が九州方言起源なら話が面白いが、確証がない。いずれにせよ、助詞「から」の用法拡大として、マニユアル敬語と共通の③メカニズムが働いた可能性がある。今では「千円いただきます」と言われると、「おつりが戻らないのではないか」と、はらはらする。ここまで考えると、「から」を禁止するのは難しい。

また文化庁(1997)によれば、《(千円ちょうどの買い物をしたとき、店の会計で、店員が)「ちようどからお預かりします」》については、「気にならない」は4割だった。論理的にはおかしいが、ことばではよくあることだ。

商業でのマニユアル敬語は昔からあった。江戸時代の丁稚奉公でも、決まり文句を覚える必要があった。昔の遊郭、江戸吉原よしわらでおいらんが使っていた「ありんすことば」も、地方出身の遊女が、出身地がばれないように身につけたと言われる。

デパートでは、ささやかな言語政策として、昔からことばに気をつけていた。デパートの敬語は、案内アナウンスも「ばか丁寧」だが、店員にも応用のきく言い方を指導していた。典型は、「お買い得になっております」とか「お徳用」で、下町の店なら

「安いよ」と言うところだ。同様に航空会社の客室乗務員なども敬語に気を使う。ことばづかいが接待の一つで、待遇の段階を示すからだ。よくある接客場面では、使いこなしが難しいから、マニュアル敬語が普及した。しかしコンビニ敬語はレパートリーが狭い。

様々な若い人が一時的に働くコンビニの敬語は単純だ。マニュアル敬語は、最低限の敬語、サバイバルの敬語である。コンビニやスーパーの店員が習得する敬語は、客も頻繁に耳にする。だから世の中で話題になりやすいのだ。実は世間に広がっている言い方も含まれるので、⁽⁴⁾濡れ衣の場合もある。

なぜマニュアル敬語が気になるのか、考えよう。第一には、従来なかった言い方だからだ。しかし採用され、広がるのには理由があるはずだ。良さがあるからこそ広がる。マニュアル敬語の実例をみると、ぼかして言う、という共通原理が見つかる。

「ぼかし表現・あいまい表現」が日本語ではよく使われる。漠然とした言い方をするのは、古来の（また世界に広い）傾向で、相手への心理的配慮の表現であり、敬語の様々な面に表れる。これも敬語・待遇表現の周辺部に位置づけられる。昔から量り売りのときには「りんご三つほどください」などのような言い方をしていた。かつて「一応学生やっています」「〴〵などしています」「お茶とかどう？」のような表現があった。「〴〵っぽい」「〴〵的な」「〴〵入ってる」「好き、かも」などの若者ことばを含めて、かつて騒がれた。これも、⁽⁵⁾ぼかして言う、相手に単刀直入に結論を押し付けられないという意味では、聞き手に配慮した表現である。敬語の周辺部にあたる、広い意味での敬意表現・待遇表現と言っている。

マニュアル敬語の実例をみると、ストレートに言わないという共通原理が見つかる。マニュアル敬語の進出の根本原理として、「トイレの名前と敬語は変わりやすい」と言える。トイレの言い方は、会話ではタブー（禁忌）に近いから、新しいものに変わる。古い言い方は、昔の「便所」の臭いのように文字どおり「⁽⁴⁾鼻について」、すたれてしまう。「雪隠」^{せっちん}「御不浄」「お手洗い」「化粧室」「おトイレ」など様々に呼ばれた。

日本語の敬語の起源もタブーに基づくと言われる。タブー表現の本質は、指し示すのが恐れ多いので、直接指示を避けることにある。その点では、「あいまい表現・ぼかし表現」と深い関連性がある。古代敬語の起源の現象が現代敬語の最先端にも働いているのだ。ファミリーレストランのことばとトイレを一緒にするのは、「⁽¹⁾ X ⁽²⁾」の現物に近すぎるが。

第5章をまとめよう。マニユアル敬語は、最近コンビニやファストフードのチェーン店が増えて、客がよく耳にするようになったので、話題になるが、根本を探ると、古いところにさかのぼる。それぞれのマニユアル敬語には、発生と普及の理由がある。むげに否定することはできない。ほかの人の論理を思いやる温かさ、受け入れる鷹揚さが人生には必要である。

以上第I部では、いわゆる敬語と、その周辺の現象について、具体的な調査資料に基づいて、論じた。ことばの乱れとして非難される言い方は色々ある。その多くは今後も増えると予想される。尊敬語は進出を続ける。謙譲語は衰えて「ていただく」に機能を譲り、丁寧語は使い分けが細かくなる。一方でマニユアル敬語によって、表現の画一化が進む。「乱れ」はいずれ「変化」と位置付けられる。ことばは常に変化する。我々はその現場に立ち会って、体験しているのだ。

全国規模の繰り返し世論調査を年齢層別にグラフ化することにより、敬語使用については、20代、30代がピークになる傾向が確かめられた。10代は敬語モラトリアム世代である。また、言語変化が次の調査では積み重なる形で進行するパターンが読み取れた。

これを踏まえて、第II部では、敬語を身につける時期は生涯にわたるものであり、極端に遅いこともあることを論じる。50代前後のベテラン層がピークになることもある。

(出典 井上史雄著『新・敬語論 なぜ「乱れる」のか』NHK出版新書)

問1 文中の二重傍線部 a～f に相当する漢字を含むものを、それぞれア～エから一つずつ選び、その記号を解答欄に記せ。

- | | | | |
|---|------|---|------------|
| a | ホキョウ | ア | ホバが広い。 |
| | | イ | 害獣をホカクする。 |
| | | ウ | 生命ホケンをかける。 |
| | | エ | 堤防をホシユウする。 |
-
- | | | | |
|---|------|---|-----------------|
| b | キかない | ア | 処方された薬は風邪によくキく。 |
| | | イ | 彼はとても機転がキく。 |
| | | ウ | この映画は大変な評判だとキく。 |
| | | エ | 真剣に講義をキく。 |

国語

c シキシヤ

ア チシキ欲が豊富だ。
 イ 綺麗なケシキで有名な観光地だ。
 ウ 大きなヤシキで暮らしている。
 エ ソシキの一員として活躍する。

d ヒヨウテキ

ア 本のヒヨウシをめくる。
 イ トウヒヨウ会場へ行く。
 ウ 政府のシヒヨウを示す。
 エ ヒヨウカ基準を定める。

e フヘン

ア ヘンシユウ者になるのが彼の夢だ。
 イ 諸国をヘンレキして書物を残した。
 ウ ヘンクツな人として知られている。
 エ 絵画の才能のヘンリンがうかがえる。

f テキヨウ

ア 病巣がテキシユツされる。
 イ 雨漏りでスイテキが落ちてきた。
 ウ この発明はカツキテキだ。
 エ リーダーは彼がテキニンだ。

問2 波線部①～④の本文での意味として最も適当なものを、それぞれア～エから一つずつ選び、その記号を解答欄に記せ。

① 「大目に見よう」

ア 見逃そう

イ 無視しよう

ウ 注目しよう

エ 敵視しよう

② 「仰々しい」

ア いんちきな

イ 大げさな

ウ 無意味な

エ 詳細な

③ 「メカニズム」

ア 機械

イ 決まり

ウ 仕組み

エ 装置

④ 「鼻について」

ア うつとうしくて

イ ばかばかしくて

ウ つまらなくて

エ 下品で

問3 傍線部(1)「マニユアル敬語は、経済効率のいい教育法である」といえるのはなぜか。解答欄に合うように、本文中の言葉を用いて三十字以内で説明せよ。

国語

問 4 傍線部(2)「しかし広がるからには心理的理由がある」とあるが、筆者はマニユアル敬語の進出の背景を何と何であると説明しているか。解答欄に合うように、本文中からそれぞれ三文字以内で抜き出して解答欄に記せ。

問 5 傍線部(3)「これ」とはどういうことか。解答欄に合うように、本文中の言葉を用いて六十字以内で説明せよ。読点等も一字と数える。

問 6 図 5-1、図 5-2 に関する筆者の記述部分について、次の問いに答えよ。

I 図 5-1 について記述した文章の空欄 に入る文の組み合わせとして最も適当なものを、ア～エから一つ選び、その記号を解答欄に記せ。

- | | | | | | | |
|---|---|-------------|---|--------|---|------------------|
| ア | A | 5割前後で、少なかった | B | 7割に増えた | C | 6割以上で、「気になる」が多い |
| イ | A | 3割前後で、少なかった | B | 8割を越えた | C | 6割以上で、「気になる」が多い |
| ウ | A | 5割前後で、少なかった | B | 8割を越えた | C | 4割以下で、「気になる」が少ない |
| エ | A | 3割前後で、少なかった | B | 7割に増えた | C | 4割以下で、「気になる」が少ない |

II 図 5-2 について記述した文章の空欄 に入る語句や文の組み合わせとして最も適当なものを、ア～エから一つ選び、その記号を解答欄に記せ。

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|----------|---|----------|
| ア | D | ベテラン層 | E | 5割程度に減った | F | 3割ほどに戻った |
| イ | D | 若い世代 | E | 3割程度に減った | F | 5割ほどに戻った |

国語

- ウ D 若い世代 E 5割程度に減った F 3割ほどに戻った
エ D ベテラン層 E 3割程度に減った F 5割ほどに戻った

III I・IIの分析結果に基づき、「お会計のほう」および「千円からお預かりします」という表現の使用について、筆者はどのような結論を述べているか。本文中の言葉を用いて簡潔に説明せよ。

問7 傍線部(4)「濡れ衣」といえるのはなぜか。解答欄に合うように、本文中の言葉を用いて五十字以内で説明せよ。

問8 傍線部(5)「ぼかして言って、相手に単刀直入に結論を押し付けたくないという意味では、聞き手に配慮した表現である」について、次の「つぼい」を含む文のうち、ここで述べている「ぼかし表現」の効果をあらわす文に当てはまらないものを、ア～エから一つ選び、その記号を解答欄に記せ。

- ア 明日のテストは難しいっぼいから勉強したほうがいい。 イ 今度の飲み会には社長も来るっぼい。
ウ 姉に大人っぼいメイクのしかたを教えてもらった。 エ 今日是一日中いい天気っぼい。

問9 空欄「 X 」に入る言葉として最も適当なものを、ア～エから一つ選び、その記号を解答欄に記せ。

- ア ねこもしやくしも イ おいもわかいも ウ すいもあまいも エ みそもくそも

問10 マニュアル敬語について、本文で述べられている内容に合致しないものを、ア～エから一つ選び、その記号を解答欄に記

国語

せ。

- ア マニユアル敬語はぼかし表現の一種であり、相手への心理的配慮を表す広い意味での敬意表現・待遇表現にあたる。
- イ マニユアル敬語がよく使われる地域はあるが、その地域がマニユアル敬語の起源であるとまでは断言できない。
- ウ ベテラン層はマニユアル敬語を「気になる」と答えて批判するが、若い人はどの年代でも気にしていない。
- エ 商業におけるマニユアル敬語は、古くから用いられてきた。おいらんの「ありんすことば」などもその一種である。
- オ 「になります」は「です」に比べて直接断定する感じが薄れ、和らげの効果があるため好んで用いられる。